

センニンソウ (仙人草)

名前の意味：果実に残る花柱かちゅうを仙人の髭ひげにたとえた。

分類：双子葉類、キンポウゲ科、センニンソウ属

(キンポウゲ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：フクジュソウ、クレマチス)

好きな場所：日当たりのよい林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：白い4弁の花 (白い部分はがく)、葉柄ようへいが他のものに巻きつく、果実には白い毛が目立つ。

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：離弁りべん、4裂れつ (本当はがく)

花の時期：10 - 11月

食べ方：食べられない (毒でおなかを壊す)

見分け方：ボタンヅルは、小葉しょうようが切れ込み、花が小さい。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度そうごうなんいど ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)